

秋の虫を探そう

藤田浩二（茂原市）

日 時：2015 年 9 月 13 日（日）13～15 時 天候：曇り

参 加 者：31 人（子ども 15 名、大人 16 名）、指導員 13 名

担当指導員：山田益弘、藤田浩二

当日の参加者は、親子参加の他、大人のみ参加などもあり、多彩な参加者構成でした。コースは、わんぱく広場では主にバッタ類を観察し、菖蒲田付近では主にトンボ類を観察しました。

今回の観察会では、各々参加者が見つけた昆虫の同定について、指導員がすぐにその場で解説するという、参加者が受け身になりがちになる方法ではなく、各昆虫の特徴・見分け方などを分かりやすく表したパネルなどを使って、参加者と指導員が共に、ワイワイガヤガヤと同定断するという、参加者自らが積極的に調べるよう誘導する方法としました。

昆虫の種類・量については、例年に比べ少なめでしたが、バッタ類ではクルマバッタ・オンブバッタ・ショウリョウバッタ等、トンボ類ではオニヤンマ・アキアカネ・ノシメトンボ等の、この時期普通に多く見られる種類が多く、子ども達には親しみやすく、解りやすいものであったと思います。

参加者の感想は、子ども達からは「〇〇〇を捕まえてうれしかった」等、大人の方々からは「童心に帰ってウン十年ぶり捕虫網を振って楽しい時間でした」「このような活動は素晴らしいことでこれからも続けていただきたい」等好評でした。



みんなでワイワイとトンボの同定中



バッタの体はどうなっているかな？



オニヤンマも捕まえた！



子どもも大人も夢中！